



船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」

第25号

令和4年11月28日

船穂中学校 HP
QRコード



読み聞かせ

11月11日(金)、11月18日(金)、11月25日(金)には、読書週間に合わせて朝読書の時間帯(8時25分~8時35分)に読み聞かせを行っていただきました。11月25日(金)の講師は「“くらしきどうわ”を読む会」からは、藤本千加子様、藤本恵子様、「Aozora」からは、渡辺仁子様、杉田富枝様にお越しいただき、1年A組・1年B組・D組・E組を対象として行いました。絵本のタイトルは、「にじいろのさかな」、「こわれた1000の楽器」、「チーターよりはやく走るのはだあれ」「すばこ」でした。講師の先生からは、「どのクラスの生徒も、絵本の読み聞かせを静かに聞いていました」というご意見をいただきました。



読み聞かせの様子

ほめる授業について

11月15日(火)、大分県教育庁大分教育事務所長 山香 昭先生にお越しいただき、1年生は、「空気の暴力」、2年生は「夢」という題材で「ほめる授業」の実践を行っていただきました。授業中、生徒の良い発言、態度や行動を見逃さず、適切にほめてくれるので、自然と笑顔があふれ集中して取り組めていました。「このクラスは切り替えが早い」、グループ活動時には、「一人をつくらないためにはどうすればいい」などと生徒自らが考えて学べる内容でした。

授業後、山香先生から皆さんへのメッセージをいただきましたので一部紹介します。

「笑顔の教室」学び合うと相手のことがよくわかる。自分との共通点がみつかり、学びも深くなり仲良くなる。「優しい視線」質問するときは優しい視線で相手を見る。だから友達も安心して伝えることができる。「一人をつくらない」教室を自由に動きながら学ぶときは、独りぼっちをつくらない。優しさのアンテナを、高い学び合う集団になろう。「多面的多角的」仲の良い友達だけでなく、いろいろな人の考えを知ると、多くの価値観を学べる。学びが広がり、さらに深くなる。



授業の様子